

〈議会報告〉 2020年6月9日、日本共産党春日部市議団

6月議会一般質問 15分×会派人数

日本共産党は

6月16日（火）午前10時から3名が質問

議場内の密接回避、コロナ関係の質問の重複を避ける、市民への支援対策を迅速に執行できる環境の確保を目的として、6月議会に限り、一般質問の時間は「1人当たり15分として会派の人数に乗じた時間を会派に割り振る。1人会派、無所属議員は15分とする。」ことが多数決で決定しました。

松本ひろかず議員だけが「非常時の今こそ全議員の質問権を確保することが重要であり、地方議会運営辞典では議員定数30人前後の議会では議員個々の発言を抑制するような代表質問制はなじまない、としている。当市議会では代表質問を1度も実施したことがない。これまで通り、全議員が一般質問をできるようにすべき」と主張し反対しました。

一般質問の日程は次の通りです。

- ・15日（月）午前10時～新政の会
午後1時～前進かすかべ未来の会
- ・16日（火）午前10時～日本共産党
午後1時～公明党、NHKから国民を守る党、無所属

党市議団（6名）は、質問が90分間と限られているので3名が代表して一般質問を行います。

【1番目】大野とし子議員（15分間）

- ①児童発達支援センターは、市の直営で運営を

【2番目】並木としえ議員（35分間）

- ①児童虐待・DVの相談・支援体制強化のために、県に児童相談所設置の要望を
- ②子どもの命を守り、遊びと生活を保障する学童保育を

【3番目】松本ひろかず議員（40分間）

- ①少なすぎる職員を増やして、市民にしっかりと寄り添う態勢を
- ②子どもを守り育てる学校に

